

平成30年度村上市図書館の活動評価(上半期)

[基本評価]

①利用状況

項目	29年度 上段：総数 下段：上半期	30年度 上半期	自己評価	協議会評価	備考	増減 (%)
入館者数(人)	117,092 62,219	66,287	A		中央館のみ	6.5
個人貸出冊数(冊)	152,527 81,178	79,189	C			△ 2.5
貸出人数(人)	49,122 26,350	25,307	C			△ 4.0
予約件数(人)	10,944 5,709	5,160	C			△ 9.6
新規登録者数(人)	655 379	408	A		中央館のみ	7.7
登録者数(人)	14,375 13,889	15,277	A		うち有効登録者数 14,900人	10.0
インターネット利用数 (件)	1,843 992	1,117	AA		中央館のみ	12.6
開館日数(日)	290 151	151			中央館のみ	0.0
郷土資料受入点数(点)	244 146	75	D			△ 48.6
利用満足度 (全体的満足度) (たいへん満足+やや満 足%)	79.26	78.30	B		中央館のみ ・回答数199人 たいへん満足101人 やや満足 54人	△ 0.96

②管理運営費(各年度の決算額・千円)

項目	29年度	30年度	備考
中央図書館経費	14,939	15,176	
地区図書館・分室経費	3,045	2,048	
(うち資料費)	(2,800)	(1,800)	
図書館ネットワーク等 経費	40,835	42,434	
(うち資料費)	(7,608)	(7,500)	

※平成30年度は当初予算額

[重点事項評価]

重点事項 1	課題解決に向けた資料の充実と利便性の向上を図る
--------	-------------------------

○重点事項達成に係る事業 : 図書館資料整備事業

《事業概要》

- ①幅広い分野の最新情報を提供できる資料収集を行う。
- ②「村上市子ども読書活動推進計画」に基づき、全館で児童書の充実を図る。

《事業実績》

①平成29年度において6,101冊(一般書3,958冊、児童書2,143冊)の図書を購入した。
(H28年度:5,423冊(一般書4,004冊、児童書1,419冊))

【資料1・4ページ】

②平成29年度において、2,143冊の児童書を購入し、中央図書館1,198冊、朝日図書館279冊、荒川図書室224冊、神林図書室229冊、山北図書室213冊を配置した。

(H28年度:1,419冊(中央1,016冊、朝日213冊、荒川100冊、神林48冊、山北42冊))

【資料1・4ページ】

《事業評価(自己評価・年間評価)》

事業	評価	評価理由
①	A	図書購入については、計画的に購入した。29年度は前年度と比較して中央館ではDVDを購入する予算、地区館では児童書を購入する予算が配当されたことにより、資料の充実が図られた。
②	AA	全館において、児童書を重点的に購入した。地区館については荒川館、神林館、山北館を重点的に購入を行った。小学生向けのブックリスト「いい本みつけた2017年版」の資料については、全館に配置し、利用者がいずれの図書館(室)でも利用できるように努めた。

《今後の課題・方向性》

・前年度に引き続き、今年度においても経年劣化した資料、内容が古くなった資料の除籍を行った。また旧塩谷保育園を書庫として保存していた資料については建屋の老朽化とともに資料の劣化が著しく、利用できる状態でなくなったため一括して除籍した。なお、旧塩谷保育園については、取り壊しが予定されている為、今後これに替わる資料の保管場所が必要である。

・平成29年度は地区図書室における児童書の購入整備を重点的に行ったが、一般書とのバランスをみながら今後も引き続き児童書の整備をすすめたい。

<協議会における事業評価>

事業	評価	評価理由
①		
②		

[重点事項評価]

重点事項 2	地域資料、行政資料の収集、保存、活用に努める
--------	------------------------

○重点事項達成に係る事業 : 図書館資料整備事業

《事業概要》

①地域資料、行政資料の収集整備を行う。

《事業実績》

①地域資料、行政資料については、新潟県及び村上市岩船郡に関する資料244冊を受け入れた。

(H28年度:213冊(購入19冊、寄贈194冊)受け入れ。)

【資料1・4ページ】

《事業評価(自己評価・年間評価)》

事業	評価	評価理由
①	AA	郷土資料の購入 19 冊、寄贈 225 冊と前年度を上回る受け入れがあった。

《今後の課題・方向性》

・地域資料については地域関係者の寄贈によるものが多く、今後も郷土資料等の寄贈を呼びかけ収集に努めたい。

・行政資料は、市役所各課等で作成している計画書等の提出を求め、引き続き市民が図書館で自由に閲覧できるよう努めたい。

<協議会における事業評価>

事業	評価	評価理由
①		

[重点事項評価]

重点事項 3	図書館ネットワークを活用して、利便性の向上を図る
--------	--------------------------

○重点事項達成に係る事業 : 図書館ネットワーク等事業
移動図書館サービス事業

《事業概要》

- ① ネットワークシステムにより一体的な書誌情報、利用者情報管理を行う。
- ② インターネットサービスにより利用者の利便性の向上を図る。
- ③ 団体貸出、相互貸借により所蔵資料の活用と利用者の利便性を図る。
- ④ 村上市岩船郡内を定期巡回して貸出サービスを提供する。

《事業実績》

- ①毎月第2金曜日にシステム管理委託業者と協議を行い、システムの不具合の調整等に対応している。
- ②中央図書館内にインターネット開放端末(3台)を設置しており、平成29年度 1,843 回の利用があった。

【資料1・8ページ】

③団体貸出については、平成29年度 全体で 883 件、12,428 冊の貸出を行った。1年間の長期貸出は、小学校 6 校に各200冊ずつ貸出を行い、定期貸出は、13団体に毎月30冊ずつ、4団体には毎月20冊ずつの貸出を行った。

【資料1・3ページ】

④118箇所のステーションを巡回し、利用者 2,287人、貸出冊数 8,544冊の利用があった。

【資料1・4ページ】

《事業評価(自己評価・年間評価)》

事業	評価	評価理由
①	A	業務に支障が出ないように対応している。 また、30年11月1日のシステム更新に向けた仕様の準備も行った。
②	A	インターネットの利用については、前年度と比較して微増であったが、定期的に利用する人が多く、その中でも小中学生の調べ学習にも利用されている。このように検索ツールを持たない利用者が安心して利用できる環境を図書館が提供しており、一定の役割を担っていると考えている。
③	A	団体貸出については、全体的に前年度同時期と比較して貸出件数、貸出冊数とも微増となっている。学校への長期貸出件数は前年度と同数であるが、ボランティア団体への貸出が増加傾向にあり、児童書の購入が例年より多かったことも踏まえ、利用の幅が広がったことが考えられる。
④	A	移動図書館については、地区によって利用の増減はあるが、全体的には微減に留まった。村上市だけでも前年度と比較して約1,200人の人口が減少しており、利用者数、貸出冊数は件数だけ見ると伸びているとは言えないが、利用についての減少は人口減より緩やかであり、移動図書館としての役割は果たしていると考えられる。

《今後の課題・方向性》

- ①図書館ネットワークシステムについては平成30年11月に更新があり、更新に係る臨時休館も予定している。更新については各館と連携しながらスムーズな作業を行う必要がある。
- ②安定した利用が見込まれる為、システム更新後も引き続き現状のサービス提供を行うこととする。
- ③各地区で活動しているボランティア団体が、地区の図書館(室)の資料を使った読み聞かせが出来るよう、平成29年度は児童書を重点的に購入したが、単年での整備には限界があるため、引き続き整備を進めたい。しかし現状では児童書整備の為の予算確保が難しく、長い期間での資料整備が想定される。
- ④移動図書館車の利用については、年々減少傾向にある。また移動図書館車についても、平成21年1月と23年1月の購入から年数が経過してきており車体のトラブルも増えてきている。そのため今後、移動図書館車についても検討する必要がある。

<協議会における事業評価>

事業	評価	評価理由
①		
②		
③		
④		

[重点事項評価]

重点事項 4	積極的な広報や工夫を凝らした事業の実施により、利用の拡大を図る
--------	---------------------------------

○重点事項達成に係る事業 : 図書館サービス事業

《事業概要》

- ① 子ども読書活動推進計画関連事業の実施により、読書活動の推進を図る。
- ② 対象別サービスの提供や学校との連携を図り、読書活動の推進を図る。
- ③ 企画展示等により情報提供を行い、利用の拡大を図る。
- ④ 図書案内(レファレンス)サービスの提供により、利用者の利便性の向上を図る。

《事業実績》

①子育て支援では、山辺里子育て支援センターに加え、今年度から朝日子育て支援センターでも読み聞かせを実施し、また個人利用者への出張貸出などを行った。小学生向けブックリスト『いい本見つけた2017年版』に掲載した図書を市内図書館(室)全館に配置した。館内でのイベント等については、図書資料を使った子ども向け工作教室や読み聞かせ等をボランティア団体の協力を得てを行った。

【資料1・6ページ】

②学校図書館運営相談会を8月に実施し、図書担当教諭との情報交換会を行った。また、一部の学校図書館に司書が配置されたことにより、当該校の読み聞かせの協力を得ることができ、学校訪問事業の受入校を増やすことができた。

【資料1・6ページ】

③上半期企画展示では、前年度の同時期と比較して利用者数、貸出冊数を増やすことができた。下半期は10月から半年間リハビリテーション大学との共同企画を実施。リハ大の先生が中央図書館の資料をテーマ別に選書した特設コーナーを設置した。またAV資料予算により上映権付のDVDを購入。春休みに映画上映会を行った。しかし下半期については、前年度同時期と比較して利用者数等を増やすことができず、通年でも前年度数値に届かなかった。

【資料1・2、7～10ページ】

④レファレンスの利用状況は前年度と比較して減少している。

【資料1・8ページ】

《事業評価(自己評価・年間評価)》

事業	評価	評価理由
①	A	子ども読書活動に関する企画・イベントによる啓発を行った。また山辺里子育て支援センターの他、4月から12月までの9か月朝日子育て支援センターへの出張貸出も行った。
②	A	小学校でのボランティア講習会や学校図書館運営相談会などを実施。平成29年度から一部の小学校に配置された学校司書との連携により、前年度よりも多くの小学校を訪問することができ、子ども達の読書に対する関心を高めることができた。
③	A	うちどくノートの提供など読書を楽しむきっかけ作りを行い、上半期については前年度同時期よりも利用者数、貸出冊数の増加に繋げることができたが、1月～3月は大雪の影響もあり入館者が伸びず利用増に繋げることができなかった。
④	B	インターネット利用については前年並みであったが、レファレンス、フロアワークとも前年度数を下回った。

《今後の課題・方向性》

①子どもの読書量は家庭での環境に左右されることが大きいものと考え、家族でも読書を楽しむことを目的としてうちどくノートの提供を行ったが、うちどくノート以外での工夫も考える必要がある。

②学校図書館司書が1名配置されたことにより学校図書館との連携が深まった。平成30年度からは学校図書館司書が2名体制となることから、引き続き学校図書館からの読書相談や資料の貸出等の支援を行う必要がある。

③年間の計画に基づき、市報、ホームページ等を活用して、広報周知を積極的に行い、図書館を利用したことがない市民へ図書館のPRを働きかける必要がある。

④レファレンス情報(所蔵事項調査)のデータベースをホームページに掲載した。引き続きデータの提供を行いたい。

<協議会における事業評価>

事業	評価	評価理由
①		
②		
③		
④		

[重点事項評価]

重点事項 5	様々な研修機会を確保し、図書館職員の資質の向上を図る
--------	----------------------------

○重点事項達成に係る事業 : 職員研修等

《事業概要》

様々な研究機会を確保し、図書館職員の資質の向上を図る。

《事業実績》

① 平成29年度は次の研修会に職員を派遣した

(外部研修)

- ・新潟県公共図書館新任職員研修会 (2人) 5月17日、18日
- ・平成29年度著作権セミナー (2人) 7月28日
- ・新任図書館長研修 (1人) 9月5日～9月8日
- ・新潟県公共図書館中堅職員研修会 (1人) 9月28日
- ・平成29年度新潟県公共図書館児童部門研究集会 (1人) 10月11日
- ・平成29年度 子ども読書レベルアップ研修会 (4人) 10月12日、17日
- ・平成29年度新潟県公立図書館実務担当者会議 (2人) 12月8日
- ・新潟県公共図書館職員専門研修会 (2人) 2月27日

(職場内研修)

- ・各地区図書室の図書館担当者端末操作研修会 随時
- ・その他読み聞かせ研修 随時

【資料1・1ページ】

《事業評価(自己評価・年間評価)》

事業	評価	評価理由
①	A	新任職員研修から図書館長研修まで幅広く研修を受けることができたが、1月に予定していた県立図書館訪問研修が大雪により県立図書館職員が来館できなくなり中止となった。

《今後の課題・方向性》

・引き続きすべての職員がいずれかの研修に参加できるよう調整を図る必要がある。

・平成29年度は県立図書館が実施している訪問研修の申し込みを行っていたが、県立図書館と当館の予定が合わず雪が降らない時期に研修日程をおろすことができなかった。降雪時期以外で研修が受けられるよう日程調整し、多くの職員のスキルアップを図りたい。

＜協議会における事業評価＞

事業	評価	評価理由
①		